



8/7 農業委員会、最適化推進委員との意見交換会



役場大会議室にて、太田村長と農業委員会、最適化推進委員による意見交換会が行われました。

意見交換会では、農業委員18人、最適化推進委員14人が参加し、新規就農者支援や耕作放棄地対策に関する事など、村の農業振興について意見を交わしました。

村長は「村独自の政策、支援を行い、全国的にも注目されるような農村にしていきたい」と述べられました。

8/25 「子ども食堂に関する基本協定」を締結



役場庁議室にて、村、子ども食堂ネットワーク、熊本県信用組合の3者による「子ども食堂に関する基本協定」締結式が行われました。この協定は行政、民間団体、企業の連携強化を図り、子ども食堂の活動を広めることを目的としたものです。

締結式では、熊本県信用組合から村内にある3つの子ども食堂への活動支援品贈呈も行われ、熊本県信用組合の出田貴康理事長から3食堂に贈呈されました。

今後、村では広報支援として子ども食堂の開催スケジュールの周知などの取り組みを行う予定です。

8/30 真珠まりこさんが訪問されました



絵本作家の真珠まりこさんが村図書館を訪れ、約50人の来場者に絵本の読み聞かせや絵かき歌を披露しました。代表作「もったいないばあさん」などで知られる真珠さんは、ものを大切に作る心や環境、命の大切さを作品を通して伝えています。熊本地震の直後から村の子どもたちに絵本を届けるなど支援を続け、作品に南阿蘇の風景を描くほど深い愛着をお持ちです。「郷土食」や「草原維持」にも関心を寄せ、「大好きな地域」である南阿蘇に今後も機会を見つけて訪れたいと語られました。

8/31 村消防団新入団員訓練



村消防団に新規入団した団員を対象に新入団員訓練が実施されました。

この訓練は、毎年高森町消防団と合同で開催されており、各町村の防災官、南部分署が救急救命講習（AED取扱い、心肺蘇生法、止血法、搬送法）、規律訓練、消防器具取扱訓練（小型ポンプ、ホース、消火器など）を指導することで、各新入団員は消防団員としての基礎を身につけることを目的としています。今回の訓練で学んだことを今後の活動に生かしながら、地域を守る消防団員としての活躍が期待されます。

9/13 熊本県民体育祭
熊本市大会で優勝



熊本県民総合運動公園室内運動広場で開催された令和7年度第80回熊本県民体育祭熊本市大会のゲートボール競技男子総合で、本村の栃原辰男さん（東下田）と下田幸二さん（東下田）の所属する阿蘇郡市チームが見事優勝を収めました。この競技には14チームが出場。お2人は「優勝できて良かった。次の目標は日本一」と抱負を述べられました。

9/18 阿蘇ファームランドと
連携協定書締結



役場大会議室にて、村と阿蘇ファームランドによる「村民の健康維持に関する連携協定書」の締結式が行われ、太田村長と北川勝幸社長が協定書に署名しました。協定により村では新たな取り組みとして、今年度60歳を迎える人を対象に、ファームランド内の施設を活用した健康プログラムを10月より実施。脳年齢測定や歩行姿勢のチェック、健康を意識したバイキングなど楽しく参加できるプログラムとなっています。今後も、同内の施設や環境を活かした健康づくりの取り組みが展開されます。

9/18 てあそびマフを
贈呈されました！



南阿蘇ケアサービスにてウィズマフの会による、てあそびマフの贈呈が行われました。

ウィズマフの会によるマフの寄贈は阿蘇郡内のさまざまな施設で行われており、色とりどりのてあそびマフを寄贈されているとのこと。

今回の贈呈の際には施設の利用者に直接マフを手渡され、利用者はマフの手触りを楽しまれ、「温かくて気持ちいい」と喜びのコメントを述べられていました。

10/3 きれいな村づくりを！



今年もツール・ド・九州2025の前に、地域婦人会と有志の人たちによる清掃活動が行われました。この取り組みは、「きれいな村にしたい」という思いから地域婦人会が計画され、今回が3回目です。

久木野地区は県道矢部阿蘇公園線や新村交差点周辺のごみ拾いを実施。白水地区、両併地区も別日にコース沿いのごみ拾いや草刈りを行いました。

清掃活動により大会当日、選手はきれいなコースを走ることができました。